

たと傳へ、その根株と稱するものを土中より掘出したこともあり、往々にして怪異の事があつたといふ。天保年中堀覺之丞の邸内に合併せられた。

センチヨウ 禪長 ↓テンケイセンチヨウ 天柱禪長。

センチヨウジ 専長寺 石川郡金石の味噌屋町に在つて、眞宗東派に屬する。

センチヨウジ 専長寺 河北郡白尾に在つて、眞宗東派に屬する。

センチヨウジ 専長寺 羽咋郡神代に在つて、眞宗東派に屬する。

センツウジ 専通寺 河北郡松濱に在つて、眞宗東派に屬する。

センツウジ 専通寺 鹿島郡上町に在つて、眞宗東派に屬する。

センツウジ 善通寺 鳳至郡田(部落名)に在つて、眞宗東派に屬する。

センツカイハ 錢塚岩 ↓ゼニツカ 錢塚。泉滴 ↓コザンセンテキ 巨山泉滴。

センドウカイ 船道會 江沼郡橋立浦の船中等によつて組織せられた廻漕組合で、寛政八年に創立し、藩末には會員三十四名を有した。明治十六年解散。

センドウジ 善導寺 金澤山上町に在つて、妙香山と號し、淨土宗に屬する。寺記に寛永十六年良往露滴の創立、開基且那は尾張町高岡屋次郎兵衛とある。

セントクサツキ 漸得雜記 廿六冊。森田盛昌著。元祿正保・享保中の筆録で、年來涉獵した群書の拔萃及び聞書の蒐集である。又續漸得雜記は三十八冊で、森田良郷の著。五

代の祖盛昌の著した漸得雜記に倣うたもので、寛政頃からの聞書・拔萃もあるが、多くは文政より安政中の筆録である。初めは懷史淵とも漸得雜記後集ともいうた。更に續々漸得雜記十五冊があつて、それは良郷の子平次が座右の雜記である。

セントクジ 専徳寺 河北郡若松に在つて、眞宗東派に屬する。初め蓮悟は若松坊に住し、之を本泉寺ともいうたが、次いで廢絶した爲、念西といふ著名蹟の失はれんことを憂へ、更に寺を若松坊の址に創めて松屏山専徳寺と稱した。寺記には念西の再興を天文中としてゐる。↓ホンセンジ 本泉寺

セントクジ 専徳寺 鹿島郡曲に在つて、眞宗東派に屬する。

セントクジ 専徳寺 鳳至郡和田に在つて、眞宗東派に屬する。

セントクジシン 善徳寺支院 金澤土取場城端町に在る。越中城端善徳寺の掛所であつたが、後支坊に改め、明治十二年支院と稱した。

セントクシユウ 仙徳集 三冊。明治十三年八月廿八日東京で前田齊泰の古稀の賀を行つた時、金澤の舊臣之を祝する爲、尚齒大會を尾山神社に開いたことを記する。

セニチツカ 千日塚 石川郡泉野新(後地黄煎村)にある。金澤千日町雨寶院の寺記に、雄勢といふ僧が、伊勢大神宮に千日の參籠をなして、文祿四年八月本國に歸り、千日山雨寶院を建て、慶安二年三月廿一日九十六歳で石川郡泉野の原で入定した。因つてその塚を千日塚といふとある。加賀古跡考には、白山社へ千日詣を行ひ、願滿ちてこの塚を築

いたとし、越後三州志には、寛永十四年から十九年まで伊勢へ參詣し、往來恙なく千日の數に滿ちたから、その意趣を刻して碑を立てたが、後破損して享保十四年改建したとある。この改建のことは事實であらうが、今存する碑には「奉供養伊勢兩太神宮五千日大願成就(右行)寛永十九年五月吉日。(左行)爲(三カ)親得(四カ)平等利益。願主加筋金澤雨寶院(五カ)」。とあるから、兩大神宮の遙拜所で、上記の諸説は凡べて誤であり、千日塚といふも五千日塚を省略したものであらう。

セニチマチ 千日町 金澤の町名で、寛文以前よりの稱である。當町に千日山雨寶院があるに依つて名づけた。

セニユウジ 選入寺 鹿島郡七尾に在つて、眞宗東派に屬する。

セニガイハヤ 仙人ヶ窟 能美郡舊市、瀬温泉からの白山登路中、別當坂から上に在る。

セニンツカ 千人塚 河北郡苜谷持山の内に三個の塚がある。里人昔々々木四郎居住の節飢人の死骸を集めた塚で、内一つは經塚であるといひ、又附近にある坊山は、佐々木四郎の建立した圓光坊のあつた所であるといふ。四郎の何人なるかは明らかでない。

セニンブ 千人夫 大聖寺藩のみに在つた奉公人で、小者の一種であるが、江戸邸に多く、藩地に少かつた。割場の所管に屬し、藩侯が江戸來往の際非役で隨行し、笠籠・合羽籠・兩掛等の手代りをなし、又は臨時の使役に任じ、江戸に在つては藩侯の出行に従ひ、雜務に使役せられるが如き事に當るものであつた。

センネイ 善寧 ↓フツイン 弗隱。センネイジ 千寧寺 鳳至郡曹洞宗總持寺の山内に在つて、同山内傳法庵に屬し、長祿二年惟忠が草創したといふが、今は無い。センネンジ 専念寺 石川郡粟ヶ崎に在つて、眞宗東派に屬する。もと専念坊と稱したが、明治十二年三月今の寺號に改めた。

センネンジ 専念寺 羽咋郡安津見に在つて、眞宗東派に屬する。

センネンジ 専念寺 鹿島郡大泊に在つて、眞宗東派に屬する。

センネンジ 専念寺 鳳至郡里に在つて、眞宗東派に屬する。

センネンジ 専念寺 珠洲郡寺家に在つて、眞宗東派に屬する。

センノ 善野 珠洲郡檜原の内の小字。

センノガハ 善野川 ↓ウカヒガハ 轡飼川。

セノスギ 千ノ杉 河北郡五ヶ庄に屬する部落。

セノドウ 千の堂 石川郡鶴來持山の内に千の堂の舊址がある。加賀古跡考に、昔は白山禪定の往來にこの山道を通過したが、その休息止宿の所に造つた堂だと記してある。然れば千の堂は禪定堂の轉訛であらうか。

センノヤチ 善ノ谷内 鳳至郡久手川の内の小字。

センバツダユウ 千羽津太夫 初め御居間方坊主より出で、享保二年御歩並となり、九年新知百三十石を得て組外に進み、十七年南御土藏奉行に任じ、寶曆八年歿した。

センバマサヒサ 千羽正久 通稱庄左衛門。彦太夫、初諱政居。寛政九年家祿百三十石を

得たといふ。天保年中堀覺之丞の邸内に合併せられた。